

**2 - 3 各政策の分析結果**

政策 1 .....	分析-61
政策 2 .....	分析-79
政策 3 .....	分析-97
政策 4 .....	分析-115
政策 5 .....	分析-133
政策 6 .....	分析-151
政策 7 .....	分析-169
政策 8 .....	分析-187
政策 9 .....	分析-205
政策 10 .....	分析-223
政策 11 .....	分析-241
政策 12 .....	分析-259
政策 13 .....	分析-277
政策 14 .....	分析-295
政策 15 .....	分析-313
政策 16 .....	分析-331
政策 17 .....	分析-349
政策 18 .....	分析-367
政策 19 .....	分析-385
政策 20 .....	分析-403
政策 21 .....	分析-421
政策 22 .....	分析-439
政策 23 .....	分析-457
政策 24 .....	分析-475
政策 25 .....	分析-493
政策 26 .....	分析-511
政策 27 .....	分析-529
政策 28 .....	分析-547
政策 29 .....	分析-565
政策 30 .....	分析-583
政策 31 .....	分析-601
政策 32 .....	分析-619
政策 33 .....	分析-637
政策 34 .....	分析-655
政策 35 .....	分析-673
政策 36 .....	分析-691

### 政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」は、首都圏の空港や港湾に依存しないで国内外の人やモノの交流を活発に行えるよう、県内の空港や港湾の機能の強化と活用を進める様々な施策で構成されている。

#### 1. 政策 33 の認知度

##### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 27.1%、低認知度群は 72.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（33.8%）が女性（20.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（32.3%）が 65 歳未満（25.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

仙台圏域（37.4%）では、回答者全体と比較して 10.3 ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域（19.0%）では、回答者全体と比較して 8.1 ポイント低い。

(%)

政策 33 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.1	25.0	27.1	54.1	18.8	72.9	100.0

性別	男性	3.4	30.4	33.8	50.8	15.4	66.2	100.0
	女性	0.8	19.6	20.4	57.6	22.0	79.6	100.0
年齢別	65 歳未満	1.9	23.1	25.0	56.0	19.0	75.0	100.0
	65 歳以上	2.8	29.5	32.3	49.4	18.4	67.8	100.0

圏域別	仙台	1.9	35.5	37.4	45.5	17.1	62.6	100.0
	仙南	2.6	25.1	27.7	56.8	15.4	72.2	100.0
	大崎	1.3	23.8	25.1	57.3	17.6	74.9	100.0
	栗原	3.8	26.2	30.0	49.8	20.2	70.0	100.0
	登米	1.9	23.7	25.6	54.1	20.3	74.4	100.0
	石巻	2.7	20.7	23.4	57.1	19.6	76.7	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	18.6	19.0	59.9	21.1	81.0	100.0

有効回答者数 1,599 名

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 38.4%、低認知度群は 61.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(80.0%)では 41.6 ポイント、石巻圏域(45.4%)では 7.0 ポイント高い。

栗原圏域(0.0%)では、回答者全体と比較して 38.4 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 67.1%、低認知度群は 32.8%である。

(%)

政策 33 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.1	36.3	38.4	53.2	8.5	61.7	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	37.9	40.5	49.1	10.3	59.4	100.0
	仙南	1.8	32.7	34.5	58.2	7.3	65.5	100.0
	大崎	2.6	34.6	37.2	55.1	7.7	62.8	100.0
	栗原	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0
	登米	0.0	80.0	80.0	20.0	0.0	20.0	100.0
	石巻	4.5	40.9	45.4	36.4	18.2	54.6	100.0
	気山沼・本吉	0.0	34.2	34.2	60.5	5.3	65.8	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	10.4	56.7	67.1	31.3	1.5	32.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 33 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 51.6%、低関心度群は 48.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（55.0%）が女性（48.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（59.0%）が 65 歳未満（49.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

仙台圏域（68.6%）では、回答者全体と比較して 17.0 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（45.7%）では 5.9 ポイント、登米圏域（45.8%）では 5.8 ポイント低い。

(%)

政策 33 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	9.9	41.7	51.6	39.9	8.4	48.3	100.0

性別	男性	12.6	42.4	55.0	36.8	8.2	45.0	100.0
	女性	7.3	41.1	48.4	43.1	8.5	51.6	100.0
年齢別	65 歳未満	8.1	40.9	49.0	43.1	7.9	51.0	100.0
	65 歳以上	15.0	44.0	59.0	31.3	9.8	41.1	100.0

圏域別	仙台	13.8	54.8	68.6	25.7	5.7	31.4	100.0
	仙南	10.0	43.7	53.7	41.1	5.2	46.3	100.0
	大崎	7.0	41.5	48.5	41.9	9.6	51.5	100.0
	栗原	10.9	38.5	49.4	41.9	8.7	50.6	100.0
	登米	11.0	34.8	45.8	46.7	7.6	54.3	100.0
	石巻	7.0	38.7	45.7	46.2	8.1	54.3	100.0
	気山沼・本吉	9.2	41.4	50.6	37.7	11.7	49.4	100.0

有効回答者数 1,613 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 58.7%、低関心度群は 41.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

大崎圏域（68.0%）では、回答者全体と比較して 9.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、栗原圏域（42.9%）では 15.8 ポイント、仙南圏域（48.2%）

では 10.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（50.0%）では 8.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 80.6%、低関心度群は 19.4%である。

(%)

政策 33 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	9.0	49.7	58.7	37.1	4.2	41.3	100.0	
圏 域 別	仙台	9.5	51.7	61.2	34.5	4.3	38.8	100.0
	仙南	8.9	39.3	48.2	51.8	0.0	51.8	100.0
	大崎	9.0	59.0	68.0	28.2	3.8	32.0	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	9.1	54.5	63.6	27.3	9.1	36.4	100.0
	石巻	8.7	52.2	60.9	26.1	13.0	39.1	100.0
	気仙沼・本吉	10.5	39.5	50.0	44.7	5.3	50.0	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	25.4	55.2	80.6	17.9	1.5	19.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 33 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 30.6%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 22.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 72.5 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 21.2%と推定できる。

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	55.0	40.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	25.3	(74.7)
満足度 60点未満の割合		55.9
要検討領域にある回答者全体の割合		30.6

有効回答者数；重視度 1,570人、満足度 1,553人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	1570	1553
	欠損値	151	168
平均値		66.53	51.98
平均値の標準誤差		.462	.444
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.319	17.509
分散		335.584	306.563
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	21.0	(79.)
満足度 60点未満の割合		43.5
要検討領域にある回答者全体の割合		22.5

有効回答者数；重視度 333人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	333	331
	欠損値	5	7
平均値		66.23	56.50
平均値の標準誤差		.912	.872
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		16.646	15.872
分散		277.094	251.923
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	63.00	50.00
	50	70.00	60.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	72.5	60.0	12.5
第1四分位数(25パーセントイル)	63.8	50.0	13.8
第3四分位数(75パーセントイル)	81.3	70.0	11.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.6	(86.4)
満足度 60点未満の割合		34.8
要検討領域にある回答者全体の割合		21.2

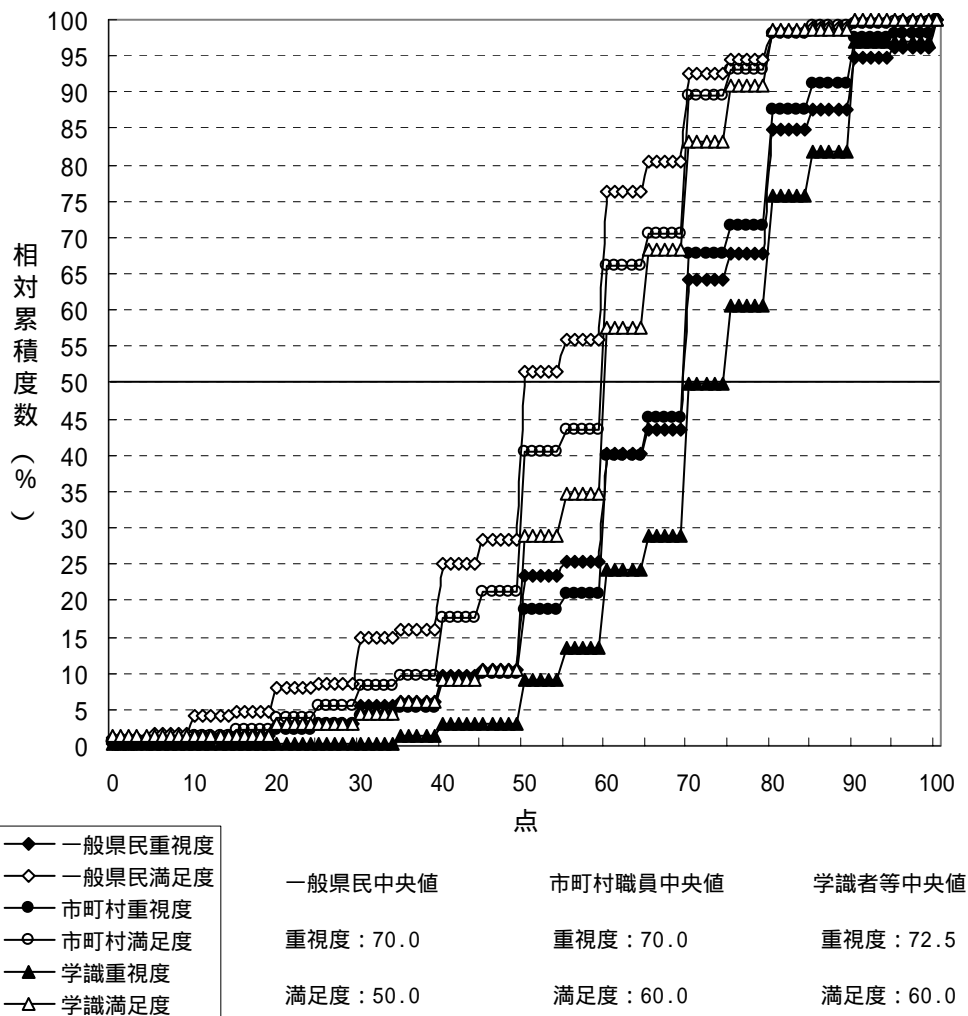
有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		72.73	60.08
平均値の標準誤差		1.711	1.719
中央値		72.50	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		13.900	13.964
分散		193.217	194.994
範囲		65	75
最小値		35	15
最大値		100	90
パーセントイル	25	63.75	50.00
	40	70.00	60.00
	50	72.50	60.00
	60	76.00	65.00
	75	81.25	70.00

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」





### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに70.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（20.0点）が女性（15.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性（12.5点）が女性（10.0点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性（10.0点）が女性（7.5点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性31.7%、女性29.6%と推定できる。

#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

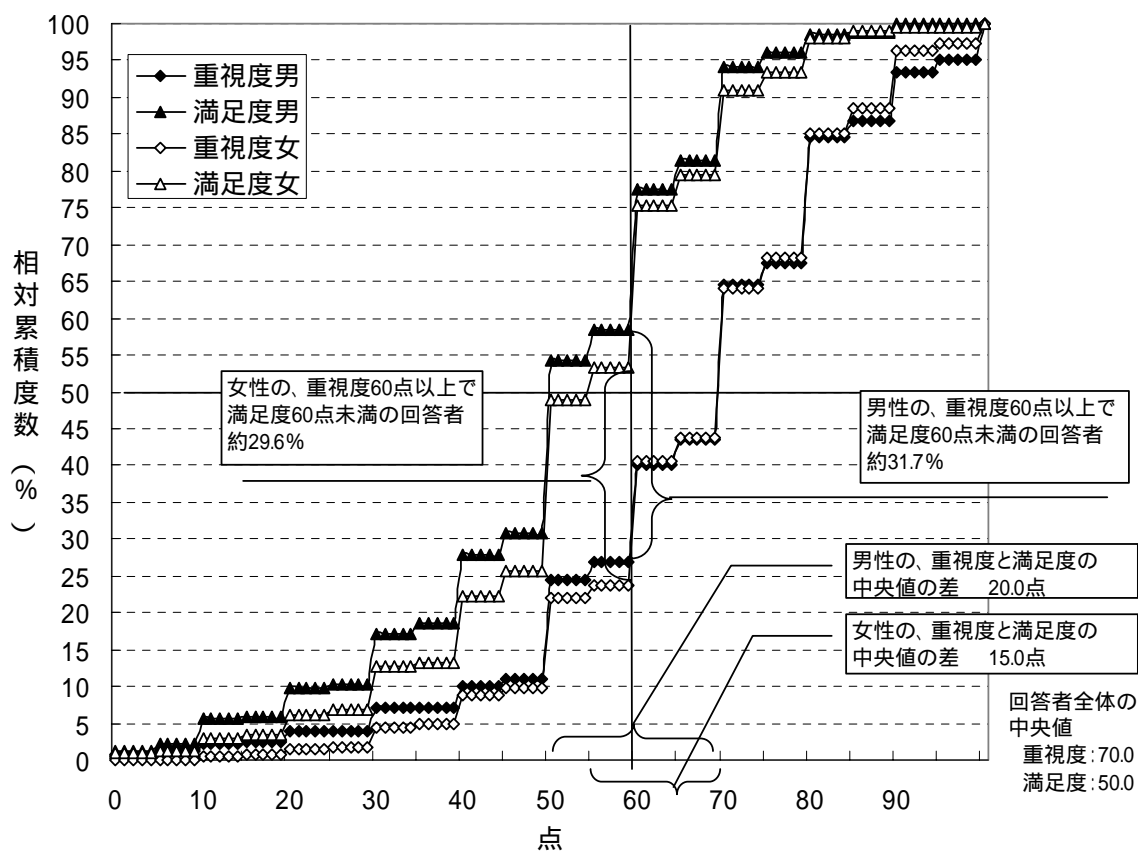
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	15.0	15.0	15.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	26.8 (73.2)	23.7 (76.3)
満足度 60点未満の割合	58.5	53.3
要検討領域にある回答者全体の割合	31.7	29.6

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	754	747
	欠損値	49	56
平均値		66.17	50.59
平均値の標準誤差		.712	.660
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.548	18.033
分散		382.120	325.189
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	799	790
	欠損値	97	106
平均値		66.91	53.39
平均値の標準誤差		.601	.599
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.002	16.833
分散		289.053	283.344
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 29.8%、65 歳以上 33.1%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

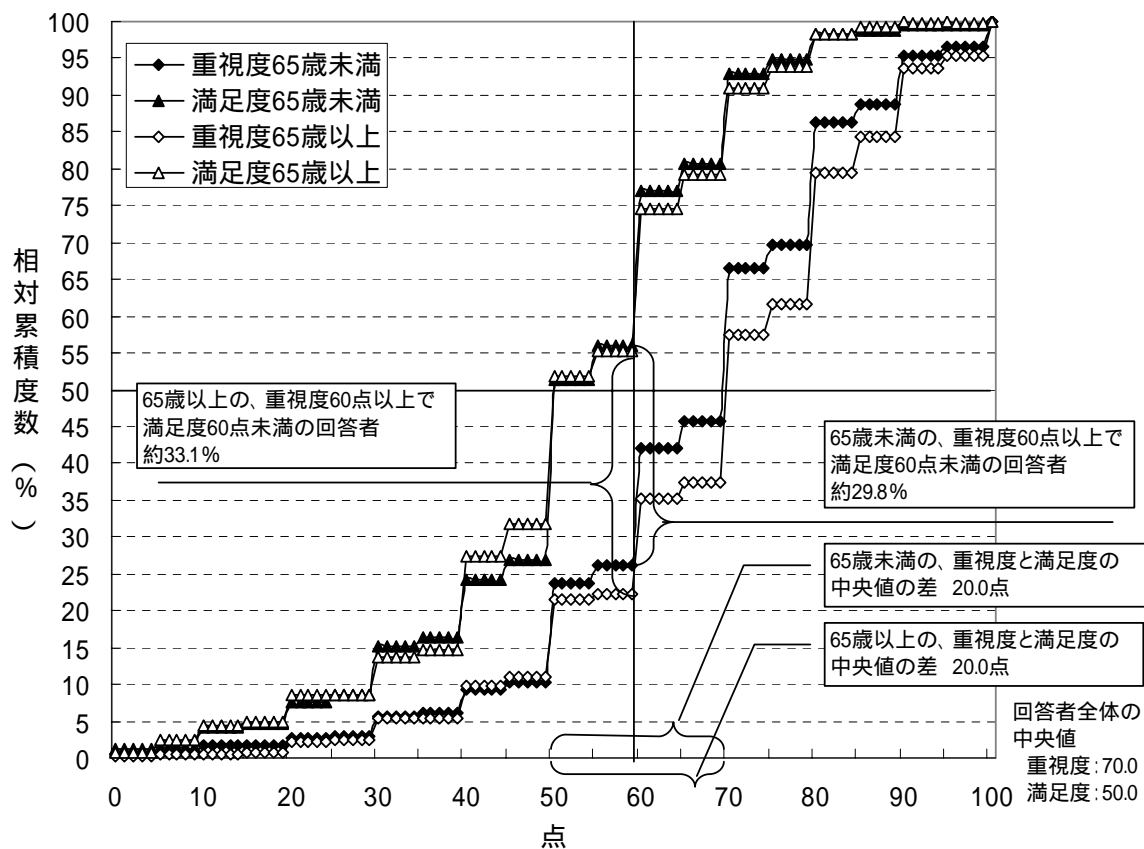
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	45.0	40.0
	かい離	15.0	10.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	7.5	12.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.2 (73.8)	22.2 (77.8)
満足度 60 点未満の割合	56.0	55.3
要検討領域にある回答者全体の割合	29.8	33.1

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	1172	1159
	欠損値	68	81
平均値		65.87	52.04
平均値の標準誤差		.531	.511
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.169	17.399
分散		330.099	302.723
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	45.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	379	376
	欠損値	78	81
平均値		68.65	51.97
平均値の標準誤差		.951	.917
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.517	17.780
分散		342.893	316.116
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(12.5点)よりも大きく、仙台圏域(10.0点)、仙南圏域(10.0点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、登米圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.1点)、石巻圏域(5.0点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、石巻圏域(65.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント、仙南圏域(55.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙南圏域(9.4点)、栗原圏域(5.0点)、石巻圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、仙南圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(7.5点)が小さい。

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0
	満足度	50.0	52.5	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	17.5	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	60.0	60.0	55.0	55.0	55.0	55.0	50.0
	満足度	40.0	45.0	40.0	43.8	40.0	40.0	50.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	11.3	15.0	15.0	5.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	20.0	15.0	15.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	10.0	10.0	12.5	12.5	12.5	12.5	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	8.1	12.5	12.5	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	60.0	70.0	60.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0	10.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	55.0	50.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	73.8	80.0	70.0	80.0	70.0	80.0
	満足度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	60.0
	かい離	10.0	10.0	3.8	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	9.4	10.0	5.0	10.0	5.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	12.5	10.0	7.5	10.0	15.0	10.0

#### 4. 政策 33 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」( 42.5% ) である。

第 2 位は施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」( 21.5% ) である。

第 3 位は施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」( 16.1% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」( 48.3% ) である。

第 2 位は施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」( 24.8% ) である。

第 3 位は施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」( 11.0% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」( 32.8% ) である。

第 2 位は施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」( 29.9% ) である。

第 3 位は施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」( 20.9% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」、気仙沼・本吉圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」、石巻圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、気仙沼・本吉圏域では施

## 政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」である。

第 3 位は、仙南、栗原、登米の 3 圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、仙台、大崎の 2 圏域では施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」である。

市町村職員では、

第 1 位は、全圏域とも施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、登米圏域では施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」である。

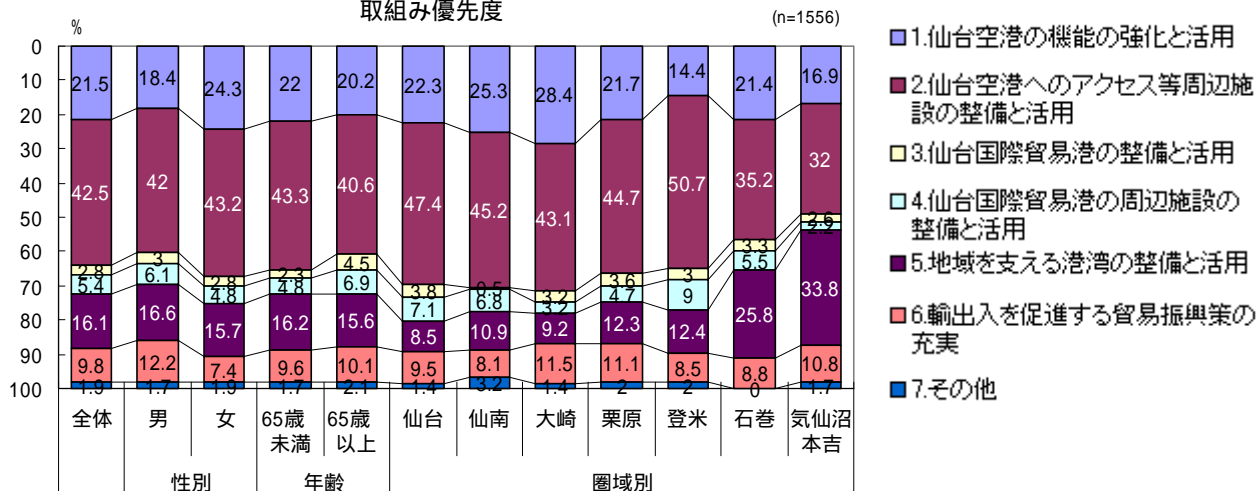
第 3 位は、仙台、仙南、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」、大崎、栗原の 2 圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、登米、石巻の 2 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」、栗原、登米の 2 圏域では施策 3 「仙台国際貿易港の整備と活用」、栗原圏域では施策 4 「仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用」と施策 7 「その他」である（栗原圏域では施策 3 と施策 4 と施策 5 と施策 6 と施策 7 が、登米圏域では施策 1 と施策 3 が、石巻圏域では施策 1 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。



政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

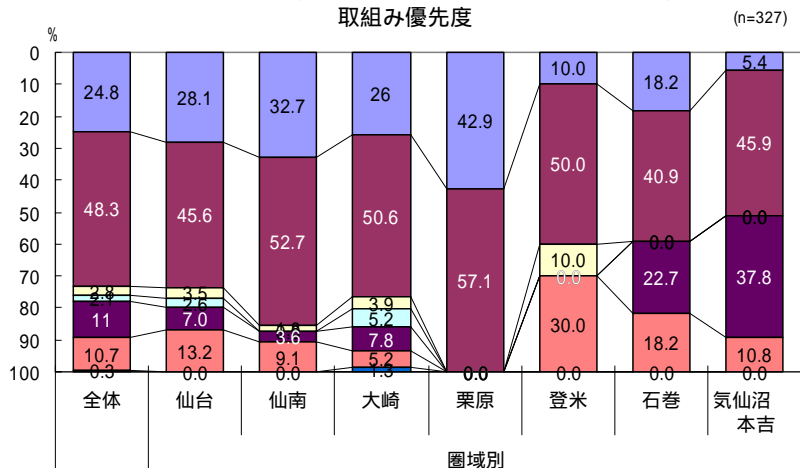
【一般県民】

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」  
取組み優先度



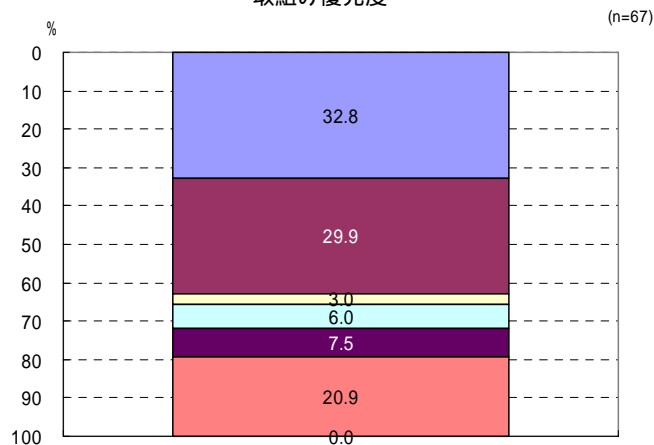
【市町村職員】

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」  
取組み優先度



【学識者等】

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」  
取組み優先度



政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.仙台空港の機能の強化と活用	21.5	18.4	24.3	22.0	20.2	22.3	25.3	28.4	21.7	14.4	21.4	16.9
2	2.仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	42.5	42.0	43.2	43.3	40.6	47.4	45.2	43.1	44.7	50.7	35.2	32.0
3	3.仙台国際貿易港の整備と活用	2.8	3.0	2.8	2.3	4.5	3.8	0.5	3.2	3.6	3.0	3.3	2.6
4	4.仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	5.4	6.1	4.8	4.8	6.9	7.1	6.8	3.2	4.7	9.0	5.5	2.2
5	5.地域を支える港湾の整備と活用	16.1	16.6	15.7	16.2	15.6	8.5	10.9	9.2	12.3	12.4	25.8	33.8
6	6.輸出入を促進する貿易振興策の充実	9.8	12.2	7.4	9.6	10.1	9.5	8.1	11.5	11.1	8.5	8.8	10.8
7	7.その他	1.9	1.7	1.9	1.7	2.1	1.4	3.2	1.4	2.0	2.0	0.0	1.7

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.仙台空港の機能の強化と活用	24.8	28.1	32.7	26.0	42.9	10.0	18.2	5.4
2	2.仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	48.3	45.6	52.7	50.6	57.1	50.0	40.9	45.9
3	3.仙台国際貿易港の整備と活用	2.8	3.5	1.8	3.9	0.0	10.0	0.0	0.0
4	4.仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	2.1	2.6	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
5	5.地域を支える港湾の整備と活用	11.0	7.0	3.6	7.8	0.0	0.0	22.7	37.8
6	6.輸出入を促進する貿易振興策の充実	10.7	13.2	9.1	5.2	0.0	30.0	18.2	10.8
7	7.その他	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.仙台空港の機能の強化と活用	32.8
2	2.仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	29.9
3	3.仙台国際貿易港の整備と活用	3.0
4	4.仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	6.0
5	5.地域を支える港湾の整備と活用	7.5
6	6.輸出入を促進する貿易振興策の充実	20.9
7	7.その他	0.0



### 政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」は、国内の広域的な交流や物流が活発に行えるよう、道路や公共交通等のネットワーク化を目指す様々な施策で構成されている。

#### 1. 政策 34 の認知度

##### 1 1 一般県民

- 一般県民全体における高認知度群は 37.0%、低認知度群は 63.0%である。
- 一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（42.6%）が女性（32.0%）よりも高い。
- 65 歳年齢区分別では、65 歳以上（44.9%）が 65 歳未満（34.4%）よりも高い。
- 一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、気仙沼・本吉圏域（52.2%）では、回答者全体と比較して 15.2 ポイント高い。
- 石巻圏域（30.3%）では、回答者全体と比較して 6.7 ポイント低い。

(%)

政策 34 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.8	34.2	37.0	48.7	14.3	63.0	100.0

性別	男性	3.5	39.1	42.6	46.7	10.7	57.4	100.0
	女性	2.3	29.7	32.0	50.5	17.6	68.1	100.0
年齢別	65 歳未満	2.4	32.0	34.4	50.8	14.8	65.6	100.0
	65 歳以上	4.1	40.8	44.9	42.3	12.9	55.2	100.0

圏域別	仙台	0.9	35.3	36.2	51.2	12.6	63.8	100.0
	仙南	2.7	33.2	35.9	53.1	11.1	64.2	100.0
	大崎	3.7	32.4	36.1	45.8	18.1	63.9	100.0
	栗原	3.4	31.3	34.7	47.7	17.6	65.3	100.0
	登米	2.8	30.8	33.6	50.2	16.1	66.3	100.0
	石巻	3.8	26.5	30.3	56.2	13.5	69.7	100.0
	気仙沼・本吉	2.6	49.6	52.2	37.2	10.7	47.9	100.0

有効回答者数 1,592 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 57.3%、低認知度群は 42.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（81.8%）では 24.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（78.4%）では 21.1 ポイント、栗原圏域（71.4%）では 14.1 ポイント、石巻圏域（68.1%）では 10.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域（50.0%）では 7.3 ポイント、大崎圏域（51.3%）では 6.0 ポイント、仙台圏域（51.7%）では 5.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.0%、低認知度群は 40.0%である。

(%)

政策 34 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.1	51.2	57.3	37.8	4.9	42.7	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	49.1	51.7	43.0	5.3	48.3	100.0
	仙南	11.1	38.9	50.0	40.7	9.3	50.0	100.0
	大崎	5.1	46.2	51.3	46.2	2.6	48.8	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	9.1	72.7	81.8	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	13.6	54.5	68.1	22.7	9.1	31.8	100.0
	気仙沼・本吉	8.1	70.3	78.4	18.9	2.7	21.6	100.0

有効回答者数 328 名

学識者等全体	15.4	44.6	60.0	36.9	3.1	40.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

## 2. 政策 34 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 69.6%、低関心度群は 30.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（73.4%）が女性（66.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（74.4%）が 65 歳未満（67.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（82.1%）では 12.5 ポイント、仙台圏域（75.6%）では 6.0 ポイント高い。

石巻圏域（57.2%）では、回答者全体と比較して 12.4 ポイント低い。

(%)

政策 34 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	18.8	50.8	69.6	24.9	5.4	30.3	100.0

性別	男性	22.3	51.1	73.4	22.1	4.5	26.6	100.0
	女性	15.7	50.5	66.2	27.6	6.2	33.8	100.0
年齢別	65 歳未満	15.6	52.3	67.9	26.9	5.1	32.0	100.0
	65 歳以上	28.1	46.3	74.4	19.4	6.2	25.6	100.0

圏域別	仙台	18.8	56.8	75.6	22.1	2.3	24.4	100.0
	仙南	14.0	54.4	68.4	26.3	5.3	31.6	100.0
	大崎	20.4	47.1	67.5	25.3	7.1	32.4	100.0
	栗原	18.9	50.2	69.1	24.2	6.8	31.0	100.0
	登米	21.5	44.4	65.9	29.4	4.7	34.1	100.0
	石巻	9.1	48.1	57.2	38.5	4.3	42.8	100.0
	気仙沼・本吉	27.5	54.6	82.1	12.5	5.4	17.9	100.0

有効回答者数 1,615 名

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 78.3%、低関心度群は 21.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（91.9%）では 13.6 ポイント、栗原圏域（85.7%）では 7.4 ポイント高い。

仙南圏域（69.1%）では、回答者全体と比較して 9.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 86.1%、低関心度群は 13.8%である。

(%)

政策 34 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	21.1	57.2	78.3	20.2	1.5	21.7	100.0	
圏 域 別	仙台	16.4	60.3	76.7	21.6	1.7	23.3	100.0
	仙南	27.3	41.8	69.1	25.5	5.5	31.0	100.0
	大崎	11.5	67.9	79.4	20.5	0.0	20.5	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	36.4	45.5	81.9	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	39.1	43.5	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気仙沼・本吉	37.8	54.1	91.9	8.1	0.0	8.1	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	33.8	52.3	86.1	12.3	1.5	13.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

### 3. 政策 34 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.0%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 24.0%と推定できる。



政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.9	(83.1)
満足度 60点未満の割合		54.8
要検討領域にある回答者全体の割合		37.9

有効回答者数；重視度 1,575人、満足度 1,561人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	1575	1561
	欠損値	146	160
平均値		71.57	52.81
平均値の標準誤差		.449	.451
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.822	17.801
分散		317.615	316.864
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	55.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	60.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.6	(85.4)
満足度 60点未満の割合		51.6
要検討領域にある回答者全体の割合		37.0

有効回答者数；重視度 336人、満足度 335人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	336	335
	欠損値	2	3
平均値		72.75	53.15
平均値の標準誤差		.962	.910
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	60
標準偏差		17.630	16.660
分散		310.831	277.553
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	55.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.9	(89.1)
満足度 60点未満の割合		34.9
要検討領域にある回答者全体の割合		24.0

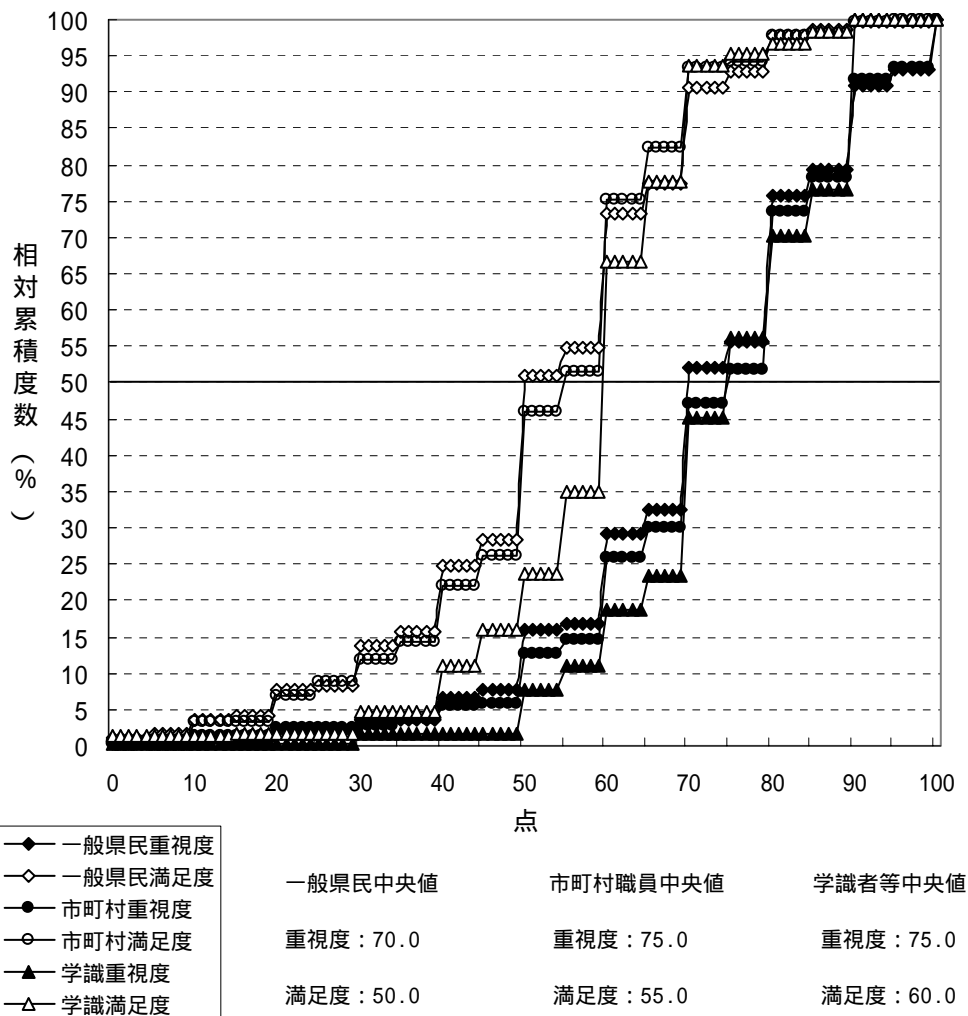
有効回答者数；重視度 64人、満足度 63人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	64	63
	欠損値	5	6
平均値		74.22	58.57
平均値の標準誤差		1.656	1.598
中央値		75.00	60.00
最頻値		90	60
標準偏差		13.250	12.682
分散		175.570	160.829
範囲		60	75
最小値		30	15
最大値		90	90
パーセントイル	25	70.00	55.00
	40	70.00	60.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

「政策34 国内の交流を進めるための交通基盤の整備」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 41.6%、女性 34.4%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

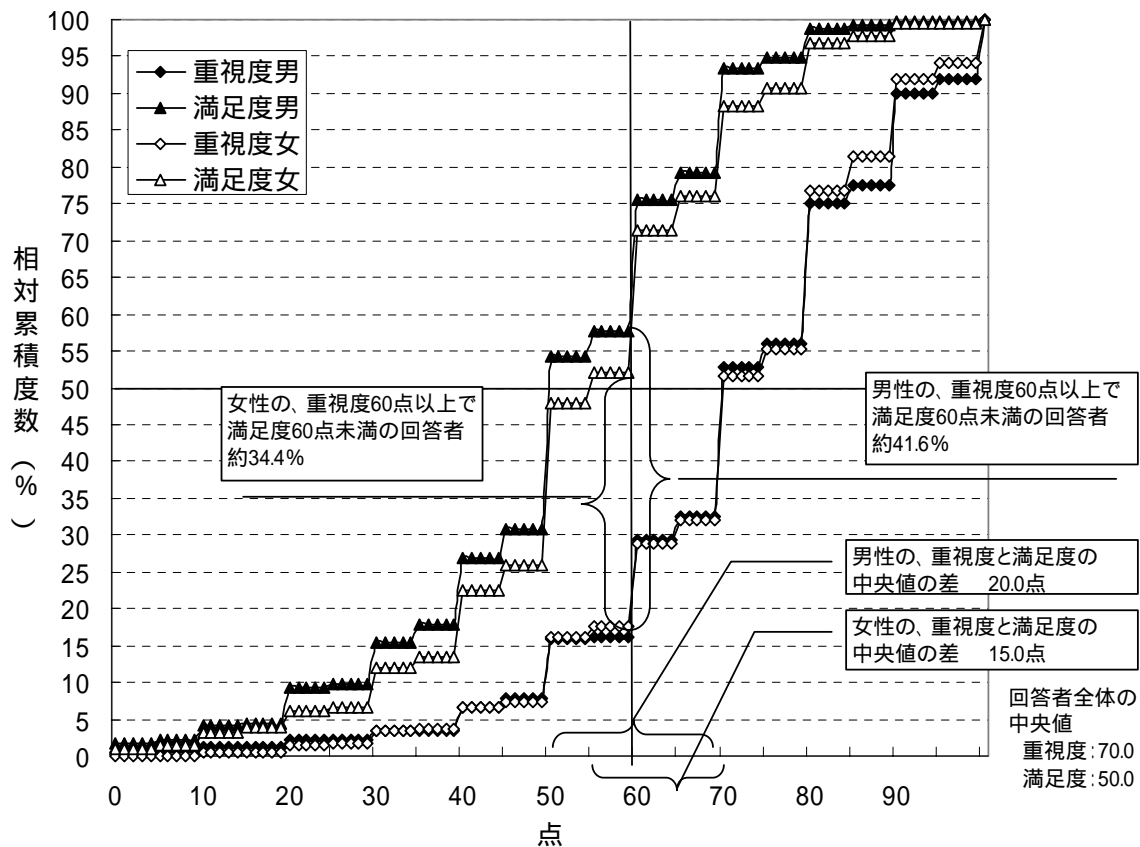
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	40.0	45.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	60.0	65.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.2 (83.8)	17.6 (82.4)
満足度 60 点未満の割合	57.8	52.0
要検討領域にある回答者全体の割合	41.6	34.4

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	752	746
	欠損値	51	57
平均値		71.67	51.27
平均値の標準誤差		.669	.654
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.339	17.856
分散		336.326	318.846
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	807	800
	欠損値	89	96
平均値		71.46	54.24
平均値の標準誤差		.609	.624
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.293	17.661
分散		299.038	311.912
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.2%、65 歳以上 33.6%と推定できる。

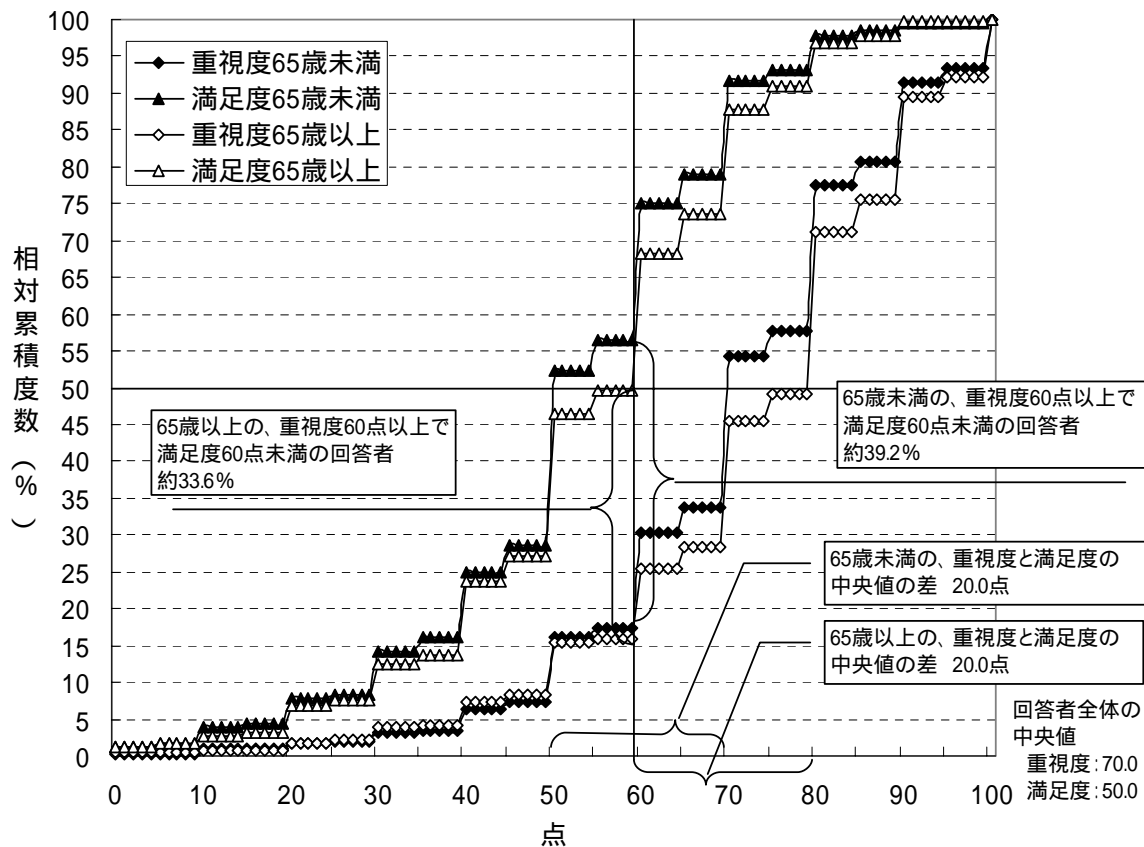
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	40.0	45.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	12.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	17.3 (82.7)	16.0 (84.0)
満足度 60 点未満の割合	56.5	49.6
要検討領域にある回答者全体の割合	39.2	33.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	1176	1167
	欠損値	64	73
平均値		71.05	52.28
平均値の標準誤差		.512	.519
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.560	17.725
分散		308.364	314.181
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	381	377
	欠損値	76	80
平均値		73.07	54.46
平均値の標準誤差		.947	.928
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.475	18.014
分散		341.334	324.504
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	70.00

### 3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(57.5点)が回答者全体(50.0点)よりも7.5ポイント、登米圏域(55.0点)、石巻圏域(55.0点)の2圏域が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(12.5点)、登米圏域(11.9点)、仙南圏域(10.6点)の3圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(87.5点)が回答者全体(75.0点)よりも12.5ポイント、栗原圏域(80.0点)、登米圏域(80.0点)、石巻圏域(80.0点)の3圏域が5ポイント高く、仙南圏域(70.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、仙台圏域(60.0点)、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の4圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、気仙沼・本吉圏域(45.0点)が10ポイント、仙南圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)が回答者全体(12.5点)よりも大きく、仙台圏域(10.0点)、仙南圏域(10.0点)、大崎圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、栗原圏域(7.5点)、登米圏域(7.5点)の6圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、石巻圏域(12.5点)、仙南圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、登米圏域(10.0点)、大崎圏域(8.1点)の6圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きい。

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	72.5	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	57.5	50.0	55.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	22.5	20.0	12.5	20.0	15.0	15.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	43.8	40.0	45.0	45.0	50.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	16.3	20.0	15.0	15.0	10.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	68.8	70.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	16.3	10.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.6	12.5	10.0	11.9	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	75.0	75.0	70.0	72.5	80.0	80.0	80.0	87.5
	満足度	55.0	60.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	45.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	12.5	20.0	20.0	30.0	42.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	70.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	45.0	50.0	40.0	50.0	50.0	50.0	35.0	30.0
	かい離	15.0	10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	30.0	40.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	85.0	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	95.0	90.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	66.3	70.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	15.0	20.0	13.8	15.0	15.0	35.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	10.0	10.0	10.0	7.5	7.5	15.0	10.0
	満足度	7.5	7.5	10.0	8.1	10.0	10.0	12.5	15.0



#### 4. 政策 34 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」(46.3%)である。

第 2 位は施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」(29.9%)である。

第 3 位は施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」(12.1%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」(38.1%)である。

第 2 位は施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」(32.1%)である。

第 3 位は施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」(16.7%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」(34.3%)である。

第 2 位は施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」(26.9%)である。

第 3 位は施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」(25.4%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位と第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 1 「高速道路の整備」、女性では施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、仙台圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」、仙台圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「高速道路の整備」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻の 5 圏域では施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」、登米圏域では施策 1 「高速道路の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」である。

市町村職員では、

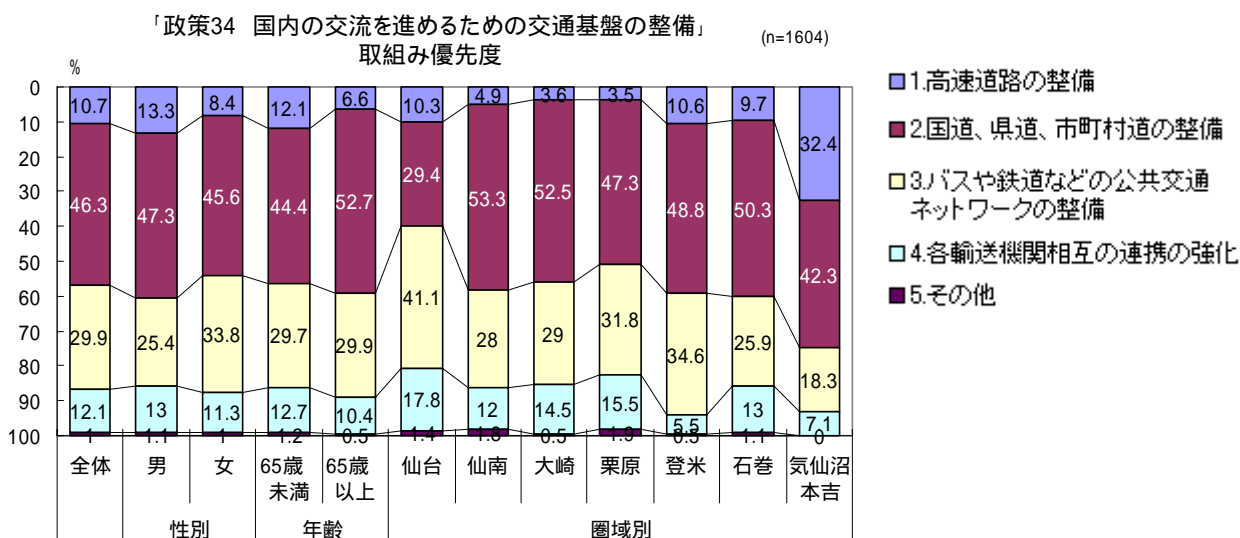
第 1 位は、仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」、仙南、大崎、石巻の 3 圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「高速道路の整備」である。

第 2 位は、仙台、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」、石巻圏域では施策 1 「高速道路の整備」である。

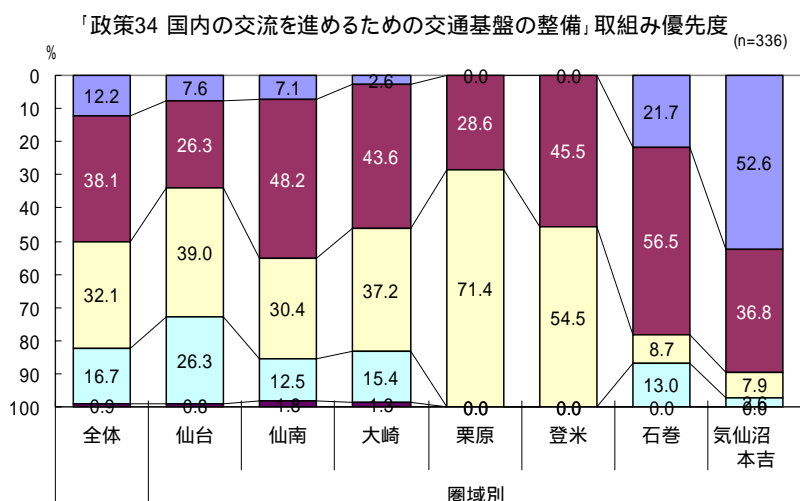
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「高速道路の整備」と施策 5 「その他」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 と施策 5 が、登米圏域では施策 1 と施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

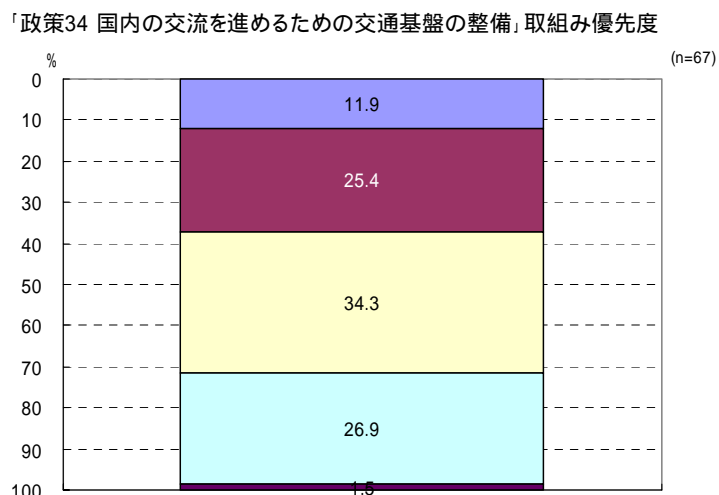
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速道路の整備	10.7	13.3	8.4	12.1	6.6	10.3	4.9	3.6	3.5	10.6	9.7	32.4
2	2.国道、県道、市町村道の整備	46.3	47.3	45.6	44.4	52.7	29.4	53.3	52.5	47.3	48.8	50.3	42.3
3	3.バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	29.9	25.4	33.8	29.7	29.9	41.1	28.0	29.0	31.8	34.6	25.9	18.3
4	4.各輸送機関相互の連携の強化	12.1	13.0	11.3	12.7	10.4	17.8	12.0	14.5	15.5	5.5	13.0	7.1
5	5.その他	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	1.4	1.8	0.5	1.9	0.5	1.1	0.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速道路の整備	12.2	7.6	7.1	2.6	0.0	0.0	21.7	52.6
2	2.国道、県道、市町村道の整備	38.1	26.3	48.2	43.6	28.6	45.5	56.5	36.8
3	3.バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	32.1	39.0	30.4	37.2	71.4	54.5	8.7	7.9
4	4.各輸送機関相互の連携の強化	16.7	26.3	12.5	15.4	0.0	0.0	13.0	2.6
5	5.その他	0.9	0.8	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.高速道路の整備	11.9
2	2.国道、県道、市町村道の整備	25.4
3	3.バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	34.3
4	4.各輸送機関相互の連携の強化	26.9
5	5.その他	1.5

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

**政策 35 「国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進」**

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進」は、国際化の進展に対応して、異文化を理解し尊重する気風を根付かせ、国際社会においてコミュニケーションできる国際性豊かな人材の育成と、県民参加型の国際交流・国際協力が活発に行われる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

**1. 政策 35 の認知度**

**1 1 一般県民**

一般県民全体における高認知度群は 21.8%、低認知度群は 78.3% である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（21.6%）が女性（21.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（28.6%）が 65 歳未満（19.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

仙台圏域（27.6%）では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント高い。

（%）

政策 35 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.4	20.4	21.8	57.0	21.3	78.3	100.0

性別	男性	1.3	20.3	21.6	56.7	21.7	78.4	100.0
	女性	1.3	20.0	21.3	57.8	20.8	78.6	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	17.7	19.0	58.2	22.8	81.0	100.0
	65 歳以上	1.5	27.1	28.6	54.6	16.8	71.4	100.0

圏域別	仙台	1.9	25.7	27.6	53.7	18.7	72.4	100.0
	仙南	0.0	19.0	19.0	55.8	25.1	80.9	100.0
	大崎	0.9	17.0	17.9	58.3	23.9	82.2	100.0
	栗原	2.7	19.9	22.6	57.9	19.5	77.4	100.0
	登米	1.0	20.5	21.5	58.0	20.5	78.5	100.0
	石巻	1.6	17.5	19.1	60.7	20.2	80.9	100.0
	気山沼・本吉	1.3	21.7	23.0	56.6	20.4	77.0	100.0

有効回答者数 1,601 名

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 37.6%、低認知度群は 62.4%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(57.1%)では 19.5 ポイント、登米圏域(45.5%)  
では 7.9 ポイント高い。

石巻圏域(31.8%)では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 55.6%、低認知度群は 44.5%である。

(%)

政策 35 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	1.2	36.4	37.6	52.7	9.7	62.4	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	31.3	33.0	54.8	12.2	67.0	100.0
	仙南	1.8	40.0	41.8	47.3	10.9	58.2	100.0
	大崎	1.3	35.1	36.4	54.5	9.1	63.6	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	0.0	45.5	45.5	54.5	0.0	54.5	100.0
	石巻	0.0	31.8	31.8	54.5	13.6	68.1	100.0
	気山沼・本吉	0.0	39.5	39.5	55.3	5.3	60.6	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	3.2	52.4	55.6	41.3	3.2	44.5	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 63 名

## 2. 政策 35 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 48.1%、低関心度群は 52.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（49.3%）が男性（46.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（54.7%）が 65 歳未満（45.6%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

仙台圏域（59.6%）では、回答者全体と比較して 11.5 ポイント高い。

回答者全体と比較して、大崎圏域（42.5%）では 5.6 ポイント、石巻圏域（43.0%）  
では 5.1 ポイント低い。

(%)

政策 35 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	8.3	39.8	48.1	42.2	9.8	52.0	100.0

性別	男性	9.3	37.2	46.5	43.9	9.5	53.4	100.0
	女性	7.0	42.3	49.3	40.7	10.0	50.7	100.0
年齢別	65 歳未満	7.0	38.6	45.6	44.6	9.8	54.4	100.0
	65 歳以上	11.5	43.2	54.7	35.6	9.6	45.2	100.0

圏 域 別	仙台	8.9	50.7	59.6	36.2	4.2	40.4	100.0
	仙南	4.7	39.7	44.4	44.0	11.5	55.5	100.0
	大崎	7.3	35.2	42.5	46.4	11.2	57.6	100.0
	栗原	10.6	40.7	51.3	41.4	7.2	48.6	100.0
	登米	11.0	38.8	49.8	38.8	11.5	50.3	100.0
	石巻	7.1	35.9	43.0	48.9	8.2	57.1	100.0
	気山沼・本吉	7.1	38.5	45.6	41.0	13.4	54.4	100.0

有効回答者数 1,620 名



政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 52.1%、低関心度群は 47.9%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(72.7%)では 20.6 ポイント、栗原圏域(57.1%)  
では 5.0 ポイント高い。

仙台圏域(46.6%)では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 73.8%、低関心度群は 26.2%である。

(%)

政策 35 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心が なかつた			
市町村職員全体	7.5	44.6	52.1	41.6	6.3	47.9	100.0	
圏 域 別	仙台	6.9	39.7	46.6	46.6	6.9	53.5	100.0
	仙南	12.5	39.3	51.8	42.9	5.4	48.3	100.0
	大崎	6.4	48.7	55.1	41.0	3.8	44.8	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	9.1	63.6	72.7	18.2	9.1	27.3	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	34.8	13.0	47.8	100.0
	気山沼・本吉	7.9	44.7	52.6	39.5	7.9	47.4	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	13.8	60.0	73.8	23.1	3.1	26.2	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

### 3. 政策 35 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 30.5%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 65.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 5.0 点で、かい離度は「小」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 17.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.9%と推定できる。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	50.0	40.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	28.8	(71.2)
満足度 60点未満の割合		59.3
要検討領域にある回答者全体の割合		30.5

有効回答者数；重視度 1,565人、満足度 1,552人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	1565	1552
	欠損値	156	169
平均値		64.23	50.14
平均値の標準誤差		.463	.451
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.320	17.770
分散		335.633	315.761
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	65.0	60.0	5.0
第1四分位数(25パーセントイル)	50.0	50.0	0.0
第3四分位数(75パーセントイル)	75.0	60.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	30.8	(69.2)
満足度 60点未満の割合		48.3
要検討領域にある回答者全体の割合		17.5

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		62.43	53.80
平均値の標準誤差		.964	.871
中央値		65.00	60.00
最頻値		60	60
標準偏差		17.620	15.899
分散		310.467	252.770
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	50.00	50.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	60.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.9	(83.1)
満足度 60点未満の割合		50.8
要検討領域にある回答者全体の割合		33.9

有効回答者数；重視度 65人、満足度 65人

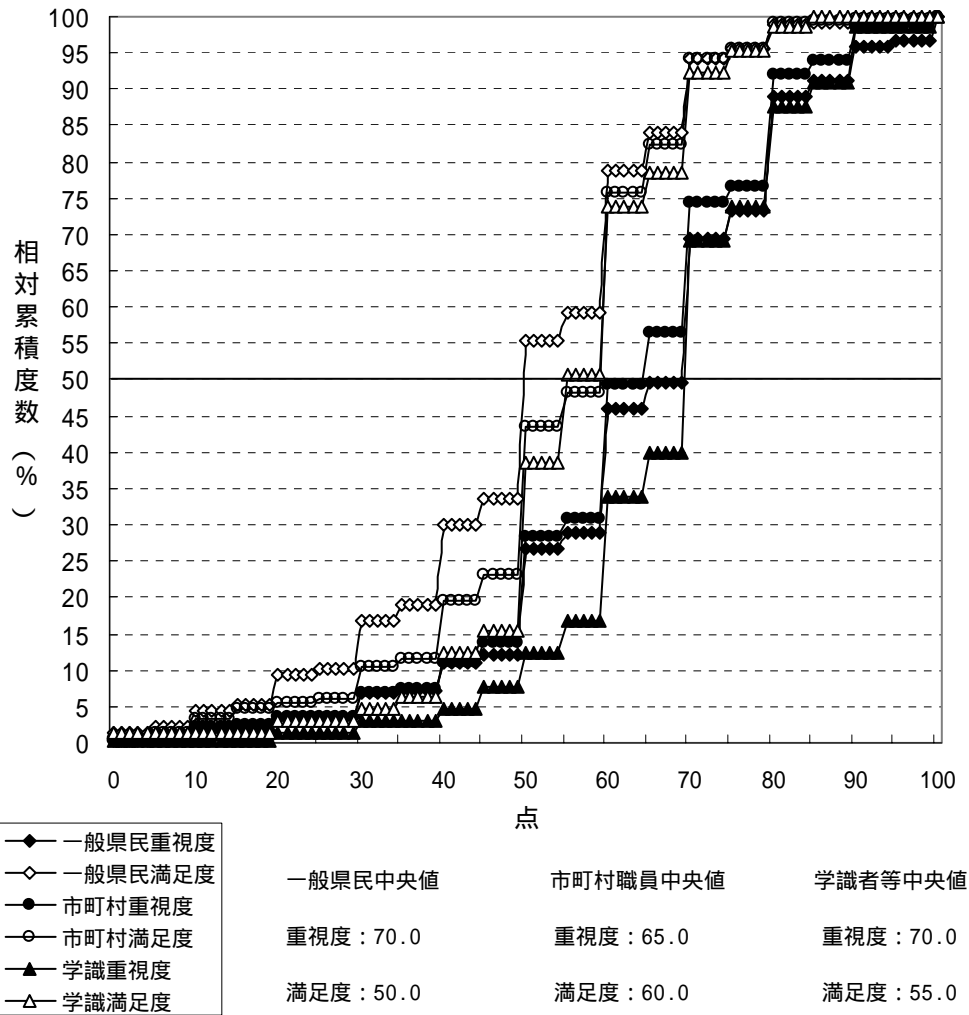
(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	65	65
	欠損値	4	4
平均値		67.85	56.31
平均値の標準誤差		1.791	1.616
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50 <sup>a</sup>
標準偏差		14.442	13.029
分散		208.570	169.748
範囲		80	70
最小値		20	15
最大値		100	85
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	67.00	55.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されません。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

「政策35 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性(70.0点)が男性(65.0点)よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性(20.0点)が男性(15.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに12.5点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性31.9%、女性29.7%と推定できる。

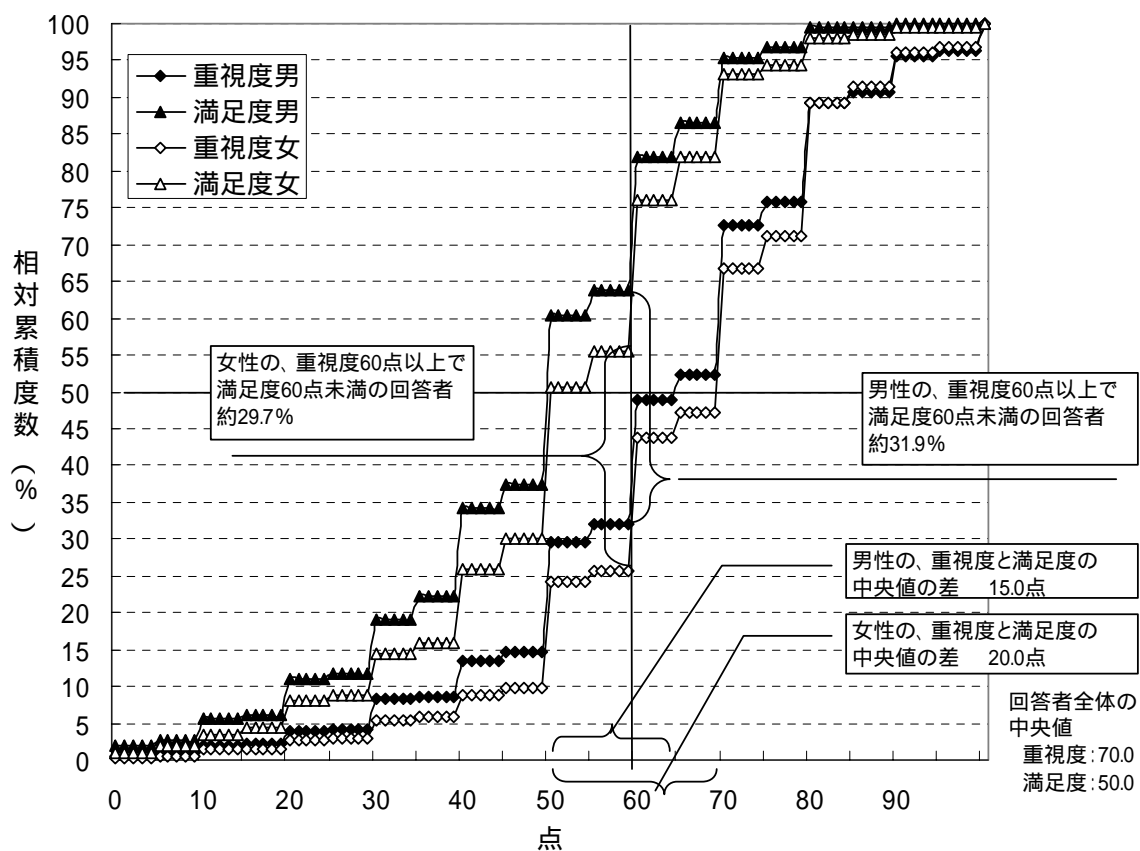
#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	50.0	50.0	55.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	15.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	15.0	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	32.0 (68.0)	25.7 (74.3)
満足度 60点未満の割合	63.9	55.4
要検討領域にある回答者全体の割合	31.9	29.7

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	752	745
	欠損値	51	58
平均値		62.89	48.19
平均値の標準誤差		.696	.654
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.078	17.839
分散		363.960	318.217
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	75.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	797	791
	欠損値	99	105
平均値		65.41	51.94
平均値の標準誤差		.619	.622
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50 <sup>a</sup>
標準偏差		17.471	17.508
分散		305.230	306.514
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（65.0 点）が 65 歳以上（70.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（15.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（15.0 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 29.2%、65 歳以上 35.5%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

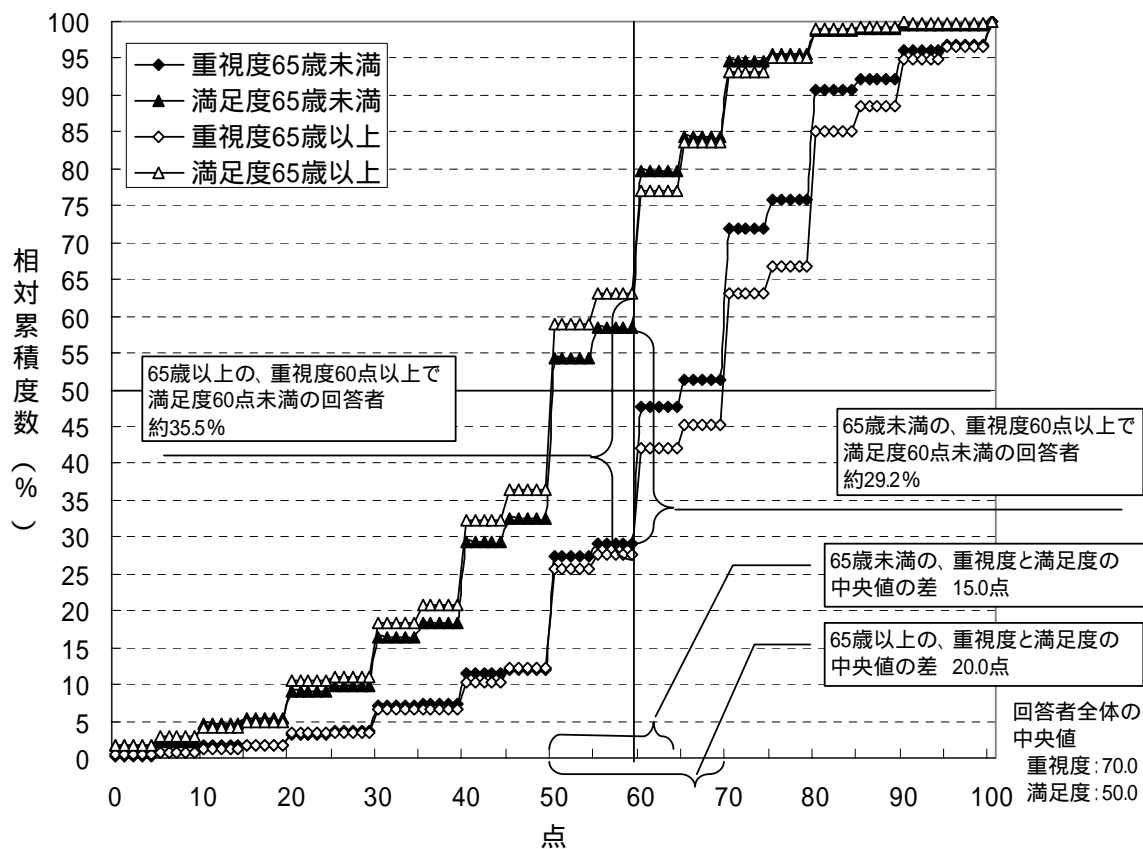
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	15.0	12.5	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	29.2 (70.8)	27.7 (72.3)
満足度 60 点未満の割合	58.4	63.2
要検討領域にある回答者全体の割合	29.2	35.5

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	1165	1156
	欠損値	75	84
平均値		63.60	50.34
平均値の標準誤差		.529	.519
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.065	17.648
分散		326.358	311.463
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
ハ-センタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	382	378
	欠損値	75	79
平均値		65.89	49.37
平均値の標準誤差		.967	.932
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.897	18.121
分散		357.080	328.376
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
ハ-センタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00



### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(62.5点)が回答者全体(70.0点)よりも7.5ポイント、大崎圏域(65.0点)、石巻圏域(65.0点)、気仙沼・本吉圏域(65.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(13.8点)、仙台圏域(12.5点)、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、仙南圏域(10.0点)の5圏域が回答者全体(15.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(7.5点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(70.0点)が回答者全体(65.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(55.0点)が10ポイント、気仙沼・本吉圏域(60.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント、仙台圏域(55.0点)、仙南圏域(55.0点)、登米圏域(55.0点)の3圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(15.0点)が回答者全体(12.5点)よりも大きく、気仙沼・本吉圏域(10.6点)、栗原圏域(10.0点)、石巻圏域(7.5点)、仙南圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)の5圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、登米圏域(10.0点)、石巻圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(6.3点)の7圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	62.5	65.0	70.0	70.0	65.0	65.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	12.5	15.0	20.0	20.0	10.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	50.0	55.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	10.0	15.0	10.0	10.0	15.0	10.0	5.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	80.0	80.0	75.0	77.5
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	15.0	17.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	15.0	12.5	10.0	15.0	12.5	15.0	12.5	13.8
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	65.0	65.0	62.5	67.5	65.0	70.0	55.0	60.0
	満足度	60.0	55.0	55.0	60.0	60.0	55.0	50.0	60.0
	かい離	5.0	10.0	7.5	7.5	5.0	15.0	5.0	0.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0	50.0
	満足度	50.0	45.0	45.0	50.0	50.0	50.0	40.0	47.5
	かい離	0.0	5.0	15.0	10.0	10.0	0.0	10.0	2.5
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	75.0	80.0	73.8	70.0	80.0	75.0	65.0	71.3
	満足度	60.0	65.0	60.0	65.0	70.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	13.8	5.0	10.0	5.0	5.0	11.3
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	15.0	6.9	5.0	10.0	12.5	7.5	10.6
	満足度	5.0	10.0	7.5	7.5	10.0	10.0	10.0	6.3

#### 4. 政策 35 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」(43.5%)である。

第 2 位は施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」(25.1%)である。

第 3 位は施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」(20.6%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」(41.6%)である。

第 2 位は施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」(29.5%)である。

第 3 位は施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」(15.5%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」(41.5%)である。

第 2 位は施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」(26.2%)である。

第 3 位は施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」(20.0%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである、

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 7 圏域では施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」である(仙台圏域では施策 1 と施策 4、栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 2 位になっている)。

第 3 位は、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」である。

市町村職員では、

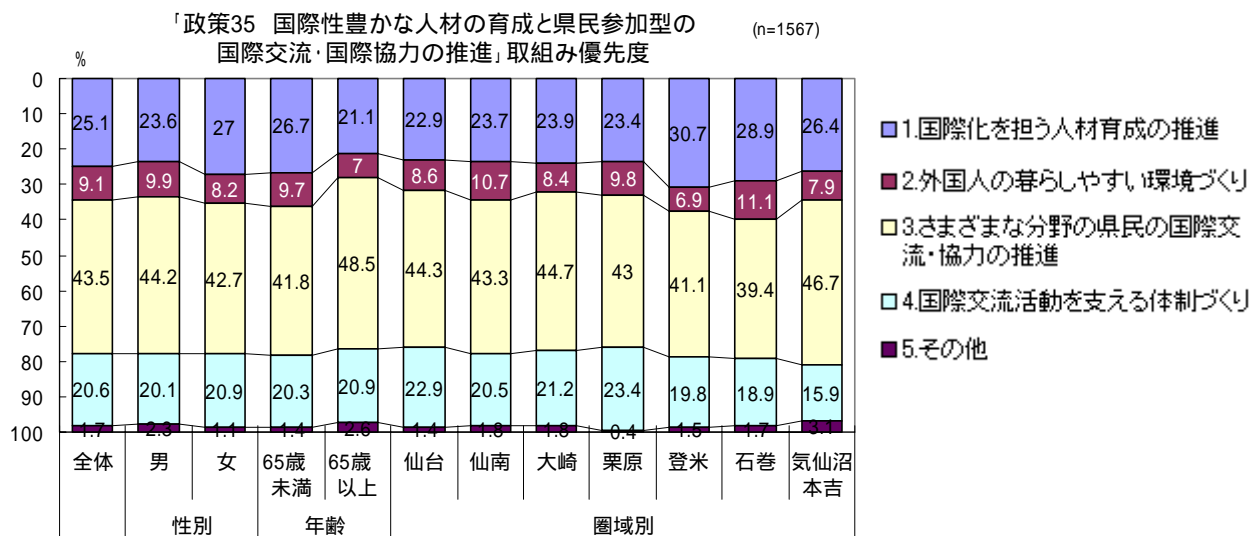
第 1 位は、仙台、仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」、大崎圏域では施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」、大崎圏域では施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」、栗原圏域では施策 2 「外国人の暮らしやすい環境づくり」、石巻圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」である。

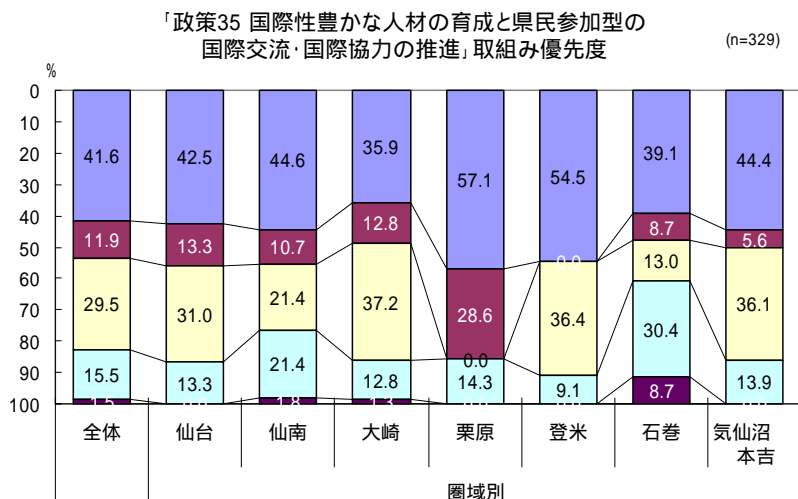
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」、仙台、大崎の 2 圏域では施策 2 「外国人の暮らしやすい環境づくり」、石巻圏域では施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」である（仙台圏域では施策 2 と施策 4 が、大崎圏域では施策 2 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

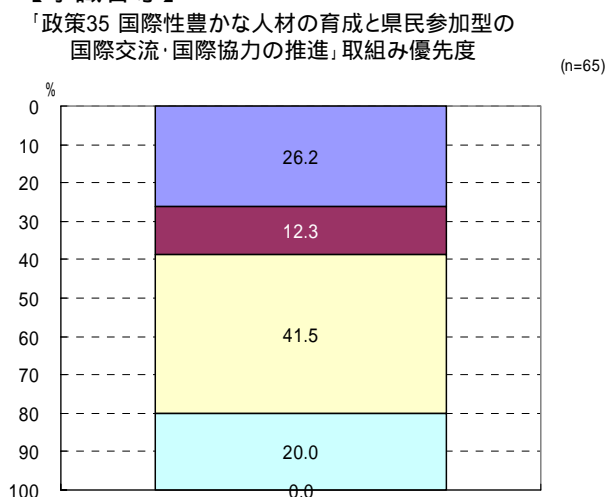
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.国際化を担う人材育成の推進	25.1	23.6	27.0	26.7	21.1	22.9	23.7	23.9	23.4	30.7	28.9	26.4
2	2.外国人の暮らしやすい環境づくり	9.1	9.9	8.2	9.7	7.0	8.6	10.7	8.4	9.8	6.9	11.1	7.9
3	3.さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	43.5	44.2	42.7	41.8	48.5	44.3	43.3	44.7	43.0	41.1	39.4	46.7
4	4.国際交流活動を支える体制づくり	20.6	20.1	20.9	20.3	20.9	22.9	20.5	21.2	23.4	19.8	18.9	15.9
5	5.その他	1.7	2.3	1.1	1.4	2.6	1.4	1.8	1.8	0.4	1.5	1.7	3.1

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.国際化を担う人材育成の推進	41.6	42.5	44.6	35.9	57.1	54.5	39.1	44.4
2	2.外国人の暮らしやすい環境づくり	11.9	13.3	10.7	12.8	28.6	0.0	8.7	5.6
3	3.さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	29.5	31.0	21.4	37.2	0.0	36.4	13.0	36.1
4	4.国際交流活動を支える体制づくり	15.5	13.3	21.4	12.8	14.3	9.1	30.4	13.9
5	5.その他	1.5	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.国際化を担う人材育成の推進	26.2
2	2.外国人の暮らしやすい環境づくり	12.3
3	3.さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	41.5
4	4.国際交流活動を支える体制づくり	20.0
5	5.その他	0.0

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

## 政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」

政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」は、情報通信技術の進歩に対応し、各分野で IT（情報技術）を活用して、県民だれもが、いつでも、どこでも必要な情報を入手・活用、創造・発信できる社会の形成を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 36 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 25.2%、低認知度群は 74.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（29.1%）が女性（21.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（27.7%）が 65 歳未満（23.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、高認知度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 36 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.6	23.6	25.2	56.0	18.8	74.8	100.0

性別	男性	1.9	27.2	29.1	54.0	16.9	70.9	100.0
	女性	1.2	20.0	21.2	58.2	20.6	78.8	100.0
年齢別	65 歳未満	1.6	22.3	23.9	56.8	19.2	76.0	100.0
	65 歳以上	1.3	26.4	27.7	54.4	17.9	72.3	100.0

圏域別	仙台	1.4	23.9	25.3	59.8	14.8	74.6	100.0
	仙南	0.9	23.5	24.4	50.9	24.8	75.7	100.0
	大崎	1.8	25.0	26.8	54.9	18.3	73.2	100.0
	栗原	2.7	25.1	27.8	52.5	19.6	72.1	100.0
	登米	1.0	23.0	24.0	59.3	16.7	76.0	100.0
	石巻	2.2	18.3	20.5	60.0	19.4	79.4	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	22.8	23.2	57.8	19.0	76.8	100.0

有効回答者数 1,578 名



1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 47.4%、低認知度群は 52.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（66.6%）では 19.2 ポイント、栗原圏域（57.1%）では 9.7 ポイント、気仙沼・本吉圏域（56.8%）では 9.4 ポイント高い。

仙台圏域（37.9%）では、回答者全体と比較して 9.5 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 54.5%、低認知度群は 45.4%である。

(%)

政策 36 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.3	44.1	47.4	45.6	6.9	52.5	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	33.6	37.9	52.6	9.5	62.1	100.0
	仙南	3.7	42.6	46.3	42.6	11.1	53.7	100.0
	大崎	2.6	48.1	50.7	46.8	2.6	49.4	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	8.3	58.3	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	39.1	8.7	47.8	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	56.8	56.8	37.8	5.4	43.2	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	3.0	51.5	54.5	43.9	1.5	45.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 36 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 59.8%、低関心度群は 40.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（63.7%）が女性（55.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳未満（59.8%）が 65 歳以上（59.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

仙台圏域（67.0%）では、回答者全体と比較して 7.2 ポイント高い。

回答者全体と比較して、登米圏域（51.5%）では 8.3 ポイント、石巻圏域（52.2%）では 7.6 ポイント低い。

(%)

政策 36 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	11.6	48.2	59.8	32.5	7.7	40.2	100.0

性別	男性	14.2	49.5	63.7	29.2	7.0	36.2	100.0
	女性	8.8	47.0	55.8	35.8	8.3	44.1	100.0
年齢別	65 歳未満	11.1	48.7	59.8	32.9	7.3	40.2	100.0
	65 歳以上	12.5	46.5	59.0	32.0	9.0	41.0	100.0

圏 域 別	仙台	13.4	53.6	67.0	28.2	4.8	33.0	100.0
	仙南	9.6	47.8	57.4	33.0	9.6	42.6	100.0
	大崎	11.7	49.6	61.3	29.6	9.1	38.7	100.0
	栗原	15.3	47.7	63.0	29.4	7.6	37.0	100.0
	登米	8.7	42.8	51.5	39.4	9.1	48.5	100.0
	石巻	8.2	44.0	52.2	40.7	7.1	47.8	100.0
	気山沼・本吉	11.3	50.8	62.1	31.1	6.7	37.8	100.0

有効回答者数 1,605 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 74.9%、低関心度群は 25.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（83.4%）では 8.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（81.1%）では 6.2 ポイント高い。

仙台圏域（69.2%）では、回答者全体と比較して 5.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 92.4%、低関心度群は 7.6%である。

(%)

政策 36 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	14.0	60.9	74.9	23.9	1.2	25.1	100.0	
圏 域 別	仙台	15.4	69.2	29.1	1.7	30.8	100.0	
	仙南	17.9	57.1	75.0	21.4	3.6	25.0	100.0
	大崎	5.1	71.8	76.9	23.1	0.0	23.1	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	17.4	60.9	78.3	21.7	0.0	21.7	100.0
	気仙沼・本吉	21.6	59.5	81.1	18.9	0.0	18.9	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	22.7	69.7	92.4	7.6	0.0	7.6	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 36 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 35.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 57.5 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 34.4%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	22.6	(77.4)
満足度 60点未満の割合		58.5
要検討領域にある回答者全体の割合		35.9

有効回答者数；重視度 1,556人、満足度 1,537人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	1556	1537
	欠損値	165	184
平均値		68.09	51.25
平均値の標準誤差		.455	.443
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.951	17.361
分散		322.235	301.393
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	57.5	12.5
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.5	(83.5)
満足度 60点未満の割合		50.0
要検討領域にある回答者全体の割合		33.5

有効回答者数；重視度 333人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	333	332
	欠損値	5	6
平均値		70.51	53.86
平均値の標準誤差		.931	.879
中央値		70.00	57.50
最頻値		70	60
標準偏差		16.997	16.017
分散		288.895	256.541
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	57.50
	60	77.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

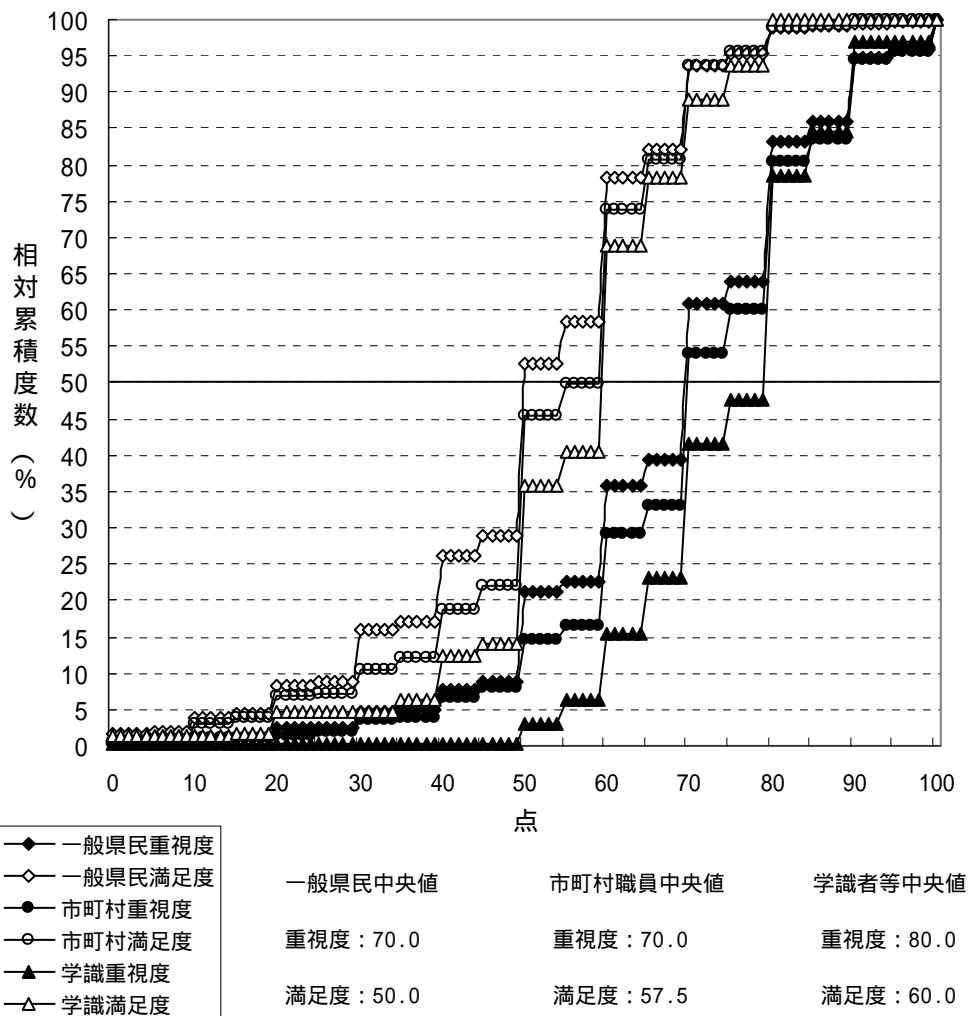
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.2	(93.8)
満足度 60点未満の割合		40.6
要検討領域にある回答者全体の割合		34.4

有効回答者数；重視度 65人、満足度 64人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	65	64
	欠損値	4	5
平均値		75.31	57.27
平均値の標準誤差		1.399	1.710
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		11.280	13.684
分散		127.248	187.246
範囲		50	65
最小値		50	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに70.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（20.0点）が女性（15.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0点)が女性(5.6点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性37.5%、女性34.6%と推定できる。

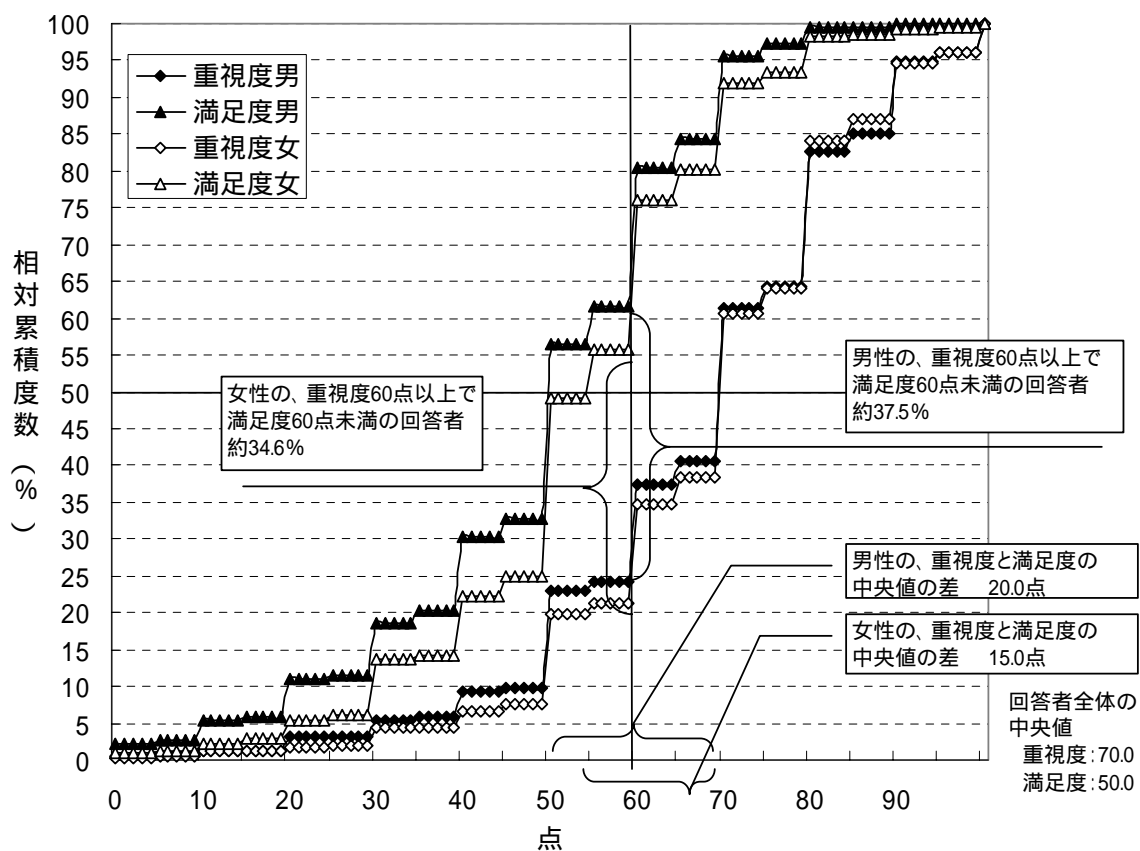
#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	48.8
	かい離	20.0	20.0	11.3
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	5.6

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	24.1 (75.9)	21.2 (78.8)
満足度 60点未満の割合	61.6	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	37.5	34.6

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	747	740
	欠損値	56	63
平均値		67.52	49.23
平均値の標準誤差		.682	.658
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.632	17.888
分散		347.143	319.974
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	794	782
	欠損値	102	114
平均値		68.48	53.20
平均値の標準誤差		.613	.594
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.269	16.598
分散		298.230	275.481
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	48.75
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00



### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 35.3%、65 歳以上 38.1%と推定できる。

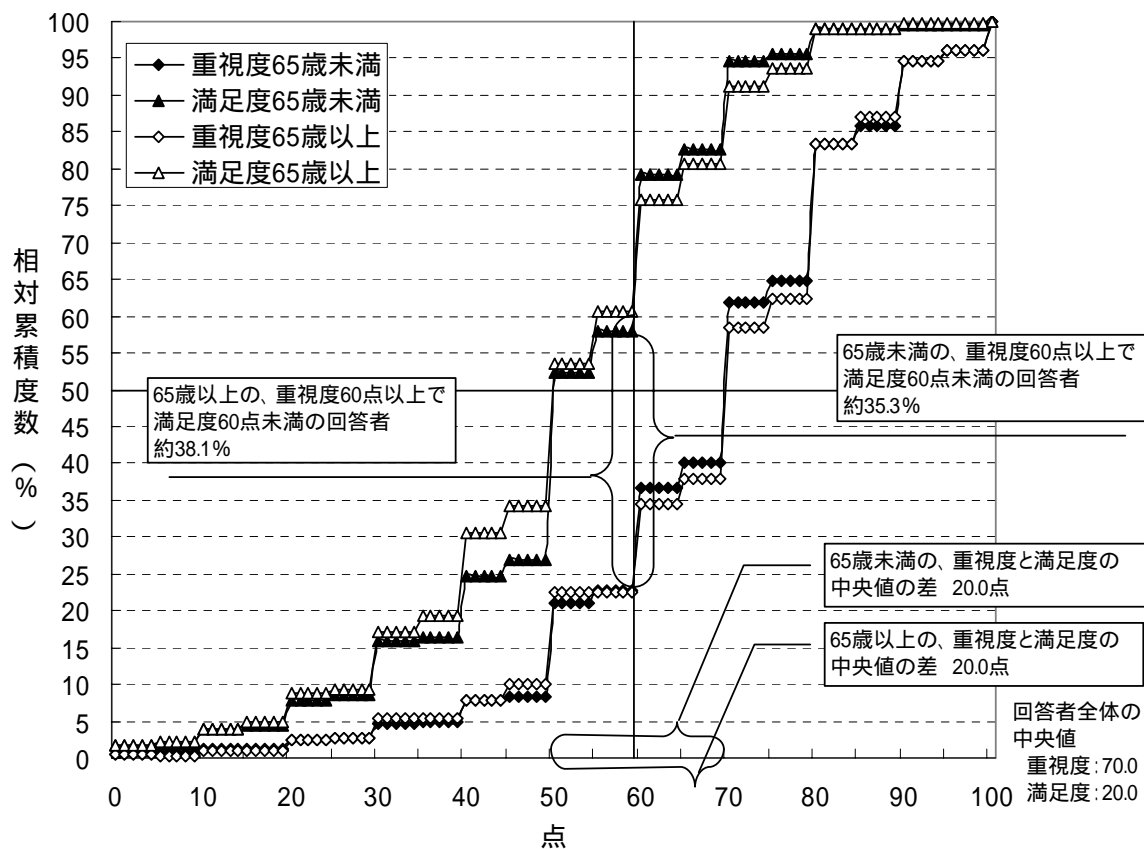
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.7 (77.3)	22.5 (77.5)
満足度 60 点未満の割合	58.0	60.6
要検討領域にある回答者全体の割合	35.3	38.1

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	1161	1147
	欠損値	79	93
平均値		67.92	51.43
平均値の標準誤差		.527	.504
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.952	17.067
分散		322.282	291.269
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	378	373
	欠損値	79	84
平均値		68.24	50.75
平均値の標準誤差		.924	.943
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.964	18.209
分散		322.693	331.559
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、石巻圏域 ( 55.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域 ( 15.0 点 )、登米圏域 ( 12.5 点 )、石巻圏域 ( 12.5 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、登米圏域 ( 5.0 点 )、石巻圏域 ( 5.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 ( 80.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 10 ポイント、石巻圏域 ( 75.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 75.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント高い。

満足度の中央値は、石巻圏域 ( 50.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 50.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 57.5 点 ) よりも 7.5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 ( 15.6 点 )、栗原圏域 ( 12.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 8.1 点 )、大崎圏域 ( 7.5 点 ) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 12.5 点 )、大崎圏域 ( 10.0 点 )、登米圏域 ( 8.8 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 8.1 点 ) の 4 圏域が回答者全体 ( 7.5 点 ) よりも大きく、栗原圏域 ( 5.0 点 ) が小さい。

## 【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	52.5	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	17.5	20.0	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	50.0	60.0	60.0	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	20.0	15.0	5.0	5.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	15.0	10.0	10.0	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	10.0

## 【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	72.5	75.0	75.0
	満足度	57.5	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	12.5	10.0	15.0	10.0	20.0	12.5	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	62.5	60.0	58.8
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	60.0	51.3	35.0	43.8
	かい離	10.0	10.0	15.0	15.0	5.0	11.3	25.0	15.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	78.8	80.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	68.8	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	7.5	12.5	8.1	10.0	15.6
	満足度	7.5	7.5	7.5	10.0	5.0	8.8	12.5	8.1

#### 4. 政策 36 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」( 40.6% ) である。

第 2 位は施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」( 21.2% ) である。

第 3 位は施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」( 20.2% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」( 32.0% ) である。

第 2 位は施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」( 26.3% ) である。

第 3 位は施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」( 17.7% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」( 33.3% ) である。

第 2 位は施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」( 31.8% ) である。

第 3 位は施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」( 21.2% ) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、男性では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、女性では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」である。

第 3 位は、男性では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、女性では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、65 歳以上では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、65 歳以上では施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、仙台、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」である（大崎圏域では施策 1 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、仙南、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」である。

市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、栗原、登米の 2 圏域では施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、栗原圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」と施策 4 「電子自治体化の推進」、登米圏域では施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 が、気仙沼・本吉圏域では施策 3 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

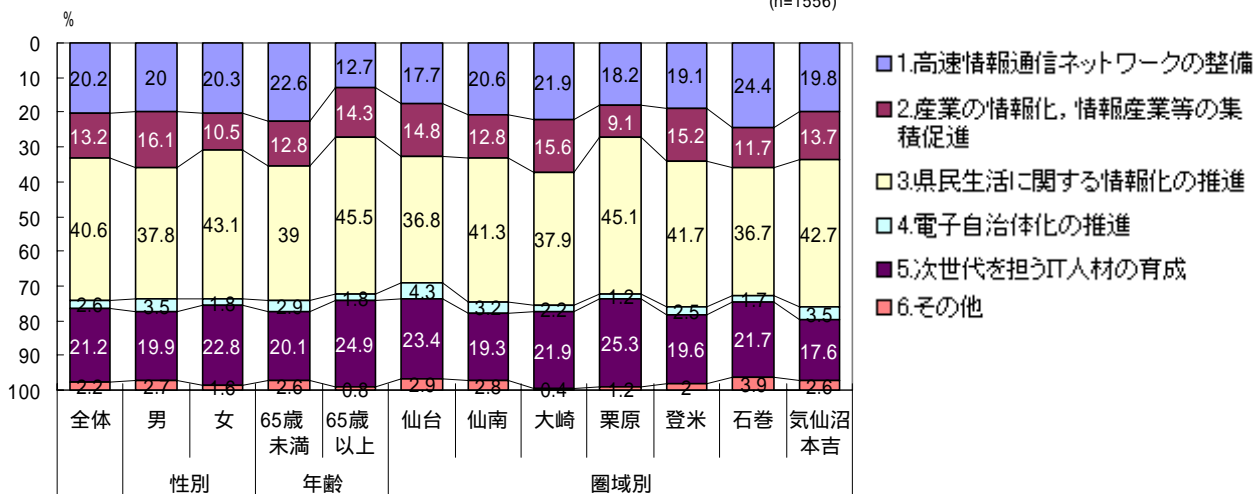
第 3 位は、仙南、登米の 2 圏域では施策 4 「電子自治体化の推進」、大崎、登米の 2 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、仙台圏域では施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」、登米圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、石巻圏域では施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である（登米圏域では施策 1 と施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」

【一般県民】

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」取組み優先度

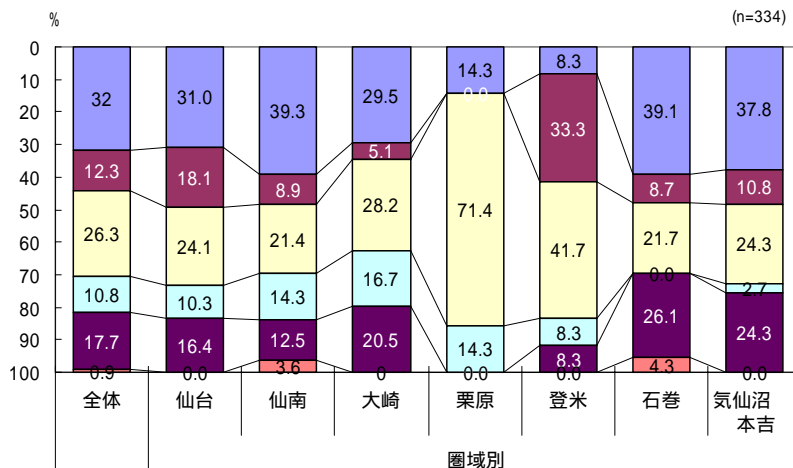
(n=1556)



【市町村職員】

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」取組み優先度

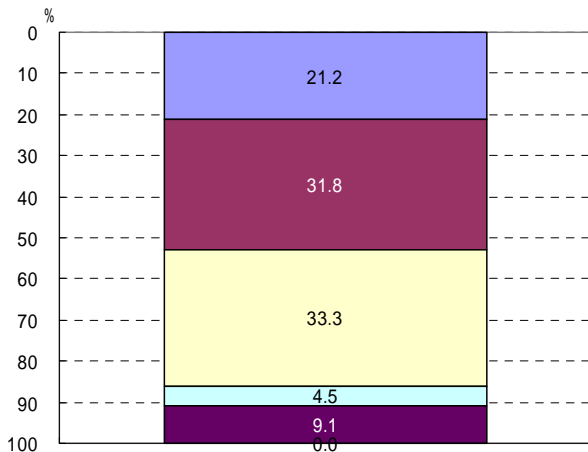
(n=334)



【学識者等】

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」取組み優先度

(n=66)



政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速情報通信ネットワークの整備	20.2	20.0	20.3	22.6	12.7	17.7	20.6	21.9	18.2	19.1	24.4	19.8
2	2.産業の情報化,情報産業等の集積促進	13.2	16.1	10.5	12.8	14.3	14.8	12.8	15.6	9.1	15.2	11.7	13.7
3	3.県民生活に関する情報化の推進	40.6	37.8	43.1	39.0	45.5	36.8	41.3	37.9	45.1	41.7	36.7	42.7
4	4.電子自治体化の推進	2.6	3.5	1.8	2.9	1.8	4.3	3.2	2.2	1.2	2.5	1.7	3.5
5	5.次世代を担うIT人材の育成	21.2	19.9	22.8	20.1	24.9	23.4	19.3	21.9	25.3	19.6	21.7	17.6
6	6.その他	2.2	2.7	1.6	2.6	0.8	2.9	2.8	0.4	1.2	2.0	3.9	2.6

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速情報通信ネットワークの整備	32.0	31.0	39.3	29.5	14.3	8.3	39.1	37.8
2	2.産業の情報化,情報産業等の集積促進	12.3	18.1	8.9	5.1	0.0	33.3	8.7	10.8
3	3.県民生活に関する情報化の推進	26.3	24.1	21.4	28.2	71.4	41.7	21.7	24.3
4	4.電子自治体化の推進	10.8	10.3	14.3	16.7	14.3	8.3	0.0	2.7
5	5.次世代を担うIT人材の育成	17.7	16.4	12.5	20.5	0.0	8.3	26.1	24.3
6	6.その他	0.9	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.高速情報通信ネットワークの整備	21.2
2	2.産業の情報化,情報産業等の集積促進	31.8
3	3.県民生活に関する情報化の推進	33.3
4	4.電子自治体化の推進	4.5
5	5.次世代を担うIT人材の育成	9.1
6	6.その他	0.0



